



# LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成30年2・3月号

## オススメ 総集編



発行月	ご紹介いただいた先生	タイトル・著者	生徒へひと言
5月号	猪狩 良一 教頭先生	<b>蝉しぐれ</b> ⇨ 藤沢 周平 	<p>興味のある本を読めばいいと思います。読むことにより、その情景を想像してみることは、脳の活性化のためにも、感性をみがぐためにも大切だと思います。</p>
6月号	柴田 玲子 先生	<b>羊と鋼の森</b> ⇨ 宮下 奈都 	<p>私たちはどう欲張っても、自分ひとりの生き方しか経験できません。しかし10冊の本を読めば、10の生き方・感じ方を追体験することができます。感受性豊かなこの時期に、読書を通して多くのことを吸収して下さい。</p>
9月号	庄谷 千鶴子 先生	<b>夜のピクニック</b> ⇨ 恩田 陸 	<p>学校行事の「歩行祭」を舞台に、高校生達がただひたすら歩くだけの物語。でも、高校時代だからこそその「特別な時間」を感じられる作品です。今年のナイトハイクは終わってしまいましたが、来年参加しようかなあとと思っている人は、こんな「特別な時間」を体験してみたいと思うはず。ぜひ、高校時代に読んでおいてほしい作品です。</p>
10月号	工藤 さやか 先生	<b>かぎいなく やさしい花々</b> ⇨ 星野 富弘 	<p>日常の何気ないことで躓いたり、後悔したり、悩んだりすることは誰にでもあることですが、そんな時に、励まされ、自分と向き合う勇気がもらえる一冊だと思います。もし、文字を読むのが苦手な人は、星野富弘さんの詩画集もおすすめですよ。</p>
12月号	中村 広和 先生	<b>左手一本のシュート</b> ⇨ 島沢 優子 	<p>夢を持つ事の大切さ、チームで一丸となる事の大切さを心から実感できる本です。ぜひ読んでみて下さい！本を読めば世界が広がります。世界が広がれば、新しい道・新しい自分が見えてきます。本を読んで、未知なる世界、自分に出会ってみて下さい！</p>

発行月	タイトル・著者		図書委員から一言
5月号	ポイズンドーター・ ホーリーマザー	⇒ 湊 かなえ	 母と娘。姉と妹。男と女。ままならない関係、鮮やかな反転、まさかの結末。読み終わった時震えました。ほんとに面白かったです。(SM)
6月号	坊っちゃん	⇒ 夏目 漱石	 坊っちゃんは無鉄砲ですが、正義感が強く、まっすぐな人です。『坊っちゃん』に出てくる「清」というお手伝いさんとの絆も見所です。面白いので、見かけたらぜひ手にとって読んでみてください。(KM)
7・8月号	魔女の家 エレンの日記	⇒ ふみー	 『魔女の家 エレンの日記』は、大人気のフリーホラーゲーム原作者の書き下ろしです。本はエレンの過去をもとに書かれているので、ゲーム中の疑問が分かります。読みやすく、充実した内容ですので、ゲームを知らない人でも楽しめます。ゲームを知っている人は、より深く楽しめると思います。(HT)
9月号	だいじな だいじな たからもの	⇒ こもり まなみ	 元気になりたい人、心があたたかくなりたい人にオススメの本です。絵本なので小説が苦手な人や読む時間がない忙しい人でも読めます。共感することが多くとても感動するのでぜひ読んでみてください。(AM)
10月号	君は月夜に光り輝く	⇒ 佐野 徹夜	 この本はただのラブストーリーではありません。2人で彼女の難病と向き合い、助け合う物語で、とても感動します。きっと、今までに読んだことのない感動のラブストーリーです。(ME)
12月号	あの日見た花の名前を 僕達はまだ知らない。	⇒ 岡田 磨里	 過去は過去であり、変えることはできません。だから、いつまでも引き摺ってはいけけない。この本を読んで、改めて前に進むことの大切さを感じました。私たちのオススメ、ぜひ読んでみてください。(AE,SK)
1月号	半透明のラブレター	⇒ 春田 モカ	 この作品をオススメに選んだのは、2人の主人公がどちらも高校生で、季節も冬で、今にピッタリだと思ったからです。人の心を読むことができるから、知りたくなかったことを知ってしまったたり、逆に知ることで相手の気持ちかわかったり……。とても感動的な話なので、ぜひ読んでみてください。(RT)

📖 図書日より『LIBRARY』で毎月紹介した“先生のオススメ”と図書委員の“今月のオススメ”です。ぜひ、読んでみてください。お忙しい中ご協力くださった先生方、ありがとうございました。